

編輯室むだばなし

B “超海王星が発見されて、我々太陽系内の家族が一人ふえたので、大いにお祝をする必要がある。又故ロウエルの名譽のためにも何とかしなければなるまい。”と云つたら易者が、妙な顔をして居た。諸君よく考へて見たまえ。

A. “今月號には原稿が澤山あつたので大いにかんばり、おまけに天象を四・五月と二つまでのせてしまつた。”

B. “超海王星が発見されたからと云つて、四月と五月の星空が一共になつた譯ではなからうね。”

A. “とに角超海王星は大したひょうばんだね。”

た よ り

拜啓時下晩春の候益々御清適の由賀し上げます。

陳者四月號天界の同志社支部だよりに新島先生遺品の支那天球儀の事が見えて居りますが、實は小生も最近當地で徑一尺程の天球儀を手に入れました。架臺はもとあつたのだそうですが屑屋が先年の好況時代に取り外して賣り拂つてしまつたそうです。臺は相當重量のあるものであつたそうで、眞鍮の四つ足だとか申して居りました。何時頃作られたものか判断致し兼ねますが、屑屋も相當古い家で、先々代からあつたものだそうですが、何物だかわからず小生に鑑定して呉れと申して參りましたものです。もし天界に餘白がありましたら、一度新島先生のそれを寫眞で御し願はれれば幸甚です。小生のものには左の銘記があります。

庚寅孟秋 休寧鄧符 生金陵李 永成同造

二百吋望遠鏡の計畫進む(1) ジーンズ博士とエヂントン教授(4) 超海王星の初姿(6) キルク彗星の寫眞(8) 田中氏の流星觀測(9) 星の名の支那名(10) 花山の賑はひ(15) コペルニク(18) シェール氏の反射鏡(22) 星座名の英語式發音法(27) 學界の新勢力(30) 四月の天象(34) 五月の天象(35) 編輯室むだばなし(40) たより(40)

星 第4.5號

昭和五年五月二十四日印刷
和和五年五月二十五日發行

天界 附録

編輯兼發行者	京都帝國大學内	天文同好會	(代表者 山本一清)
印刷所	京都市外山科町字東野一〇番地	京都 刑 務 所	
印刷者	京都市外山科町字東野一〇番地	守 田 千 松	